

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくせ、差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

9・14判決を生かし格差を是正しよう 全員参加の春闘で大幅賃上げ・増員を勝ち取ろう 安倍改革・労働法制改悪を阻止しよう

3つのスローガンを掲げ春闘方針を確立

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3831
18年2月20日(火)
・Fax 095-828-1953

また「私たちの運動は、郵政ユニオンへの信頼と期待に、私たちが感じている



まず日巻中央執行委員長より、18春闘の中心課題は「安倍暴走政治を許さな

おはようございます。郵政産業労働者ユニオンは2月10・11日、東京の南部労政会館で「第6回中央委員会」を開催しました。今回の中央委員会には、九州地本から向井中央執行委員・田尻地本書記長・浜崎地本執行委員の3名が出席、各地本の代議員と討論・交流を行い、2018春闘勝利のための運動の方向性を確立しました。

次に全労連から野村副議長と全労協から金沢議長より、それぞれ挨拶がありました。また、共に私達がたたかっている20条裁判の勝利判決に、「多くの非正規労働者の励ましになった」と、お礼と感謝の言葉がありました。これからの運動を展開するにあたり、確信



以上に大きなものがある。ツール社問題、非正規社員の均等待遇問題など多くのマスコミから取材を受けています。これは郵政グループの経営や施策に対して、利用者・現場の視点にたつて意見を言い指摘しているからで、労働相談が多く寄り添った対応が信頼を高め、労働組合として果たすべき役割を担っている郵政ユニオンの活動する姿が鮮明になっていくからである」と挨拶で述べました。



各地からの報告として共通していたものは、どこの職場も「人手不足である」ということ。そこからきている職場の矛盾、労働者の要求を吸い上げ、目に見えるようにたたかっていたことが大切だと感じました。これからストライキ一票投票、春闘学習会、非正規社員の均等待遇を求める非正規集会、春の宣伝行動、総対話運動とこれからのいろいろなことが始まります。自らが行動する春闘として、楽

九州地本からは、地本委員会九州から出た意見を発言してきました。



と希望が持てる委員長、来賓挨拶だったと思います。

今回初めて中央委員会に参加しましたが、忙しい中でも頑張っている仲間と話ができ良かったです。自分も職場改善のために頑張りたいと思います。

(濱崎直樹)

今この状況は組合が大人しくなっていることも原因、もつと仲間と力を合わせ職場で声をあげなければならぬと思います。

長中局も要員不足で過酷な状況だけでも、この状況は全国も同じであること、状況改善のためには職場の仲間と改善するためにできる事・組合として要求しなければならぬ事などをしっかり話をする事が大切だと感じました。

中央委員会参加報告
2月10・11日の日程で郵政産業労働者ユニオン第6回中央委員会に参加してきました。

しい運動をやつていかなければと思つた中央委員会でした。みんなで頑張りました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。